

## 第4回 新しいまちづくりのランドデザイン推進本部会議

### 《議事概要》

- 日時:令和5年6月26日(月)15:00~16:00
- 場所:大阪市役所 屋上階P1 共通会議室
- 出席者:会議資料「出席者名簿」のとおり

#### (司会)

定刻となりましたので、ただいまより第4回新しいまちづくりのランドデザイン推進本部会議を開会します。

本日はご多忙の中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

私は本日の司会を務めさせていただきます事務局の大阪都市計画局技監の山田でございます。よろしくお願いいたします。それでは、開会にあたりまして、推進本部本部長の吉村知事より、ご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

#### (本部長) 吉村知事

大阪府知事の吉村です。

今日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

昨年末に策定をいたしました大阪のまちづくりランドデザインについてですけれども、このまちづくりランドデザインは民間の活力も最大限に活用しながら、いろいろな主体が一つになって、大阪全体のまちづくりを進めていくというものです。大阪府、大阪市、堺市、また市長会、町村長会の皆さんと一緒に、大阪全体のまちづくりを一つの方向性を持って進めていこうというものであります。

とりわけ、都心部においては、この3月にJRのうめきた新駅が開業をいたしました。このうめきたでは来年夏に一部まちびらきも行われ、いよいよまちづくりが本格化しているという状況です。

その他、夢洲においては、4月にIRの区域整備計画、これは国の認定も受けました。また大阪城東部地域では、メトロの新駅構想も出ておりますし、1.5期開発に向けたマーケットサウンディングも5月に開始しております。

万博以降も見据えた大阪のまちづくりの取組というのが、今、大きく動き始めています。

こういった、いわゆる大阪市内、都心部での拠点開発、ここに力を入れるのは当然なのですが、その効果を府域全体に広げていくことが重要だと思っています。

市町村の皆さんと一緒に大阪全体のまちづくりを推進していく、これが大阪にとって重要だと思います。都心部周辺、そして、郊外部での拠点エリアの形成に向けて、駅前の再開発であったり、ニュータウンの再生であったり、そういった取組を今、進めているところです。

ランドデザインの計画は一定、定まりましたので、本日は、そのランドデザインの推進に向けた、現実に前へ動かしていく体制に向けたキックオフの場として、しっかりと活発に議論をお願いしたいという風に思います。

どうぞよろしくをお願いします。

#### (司会)

ありがとうございました。

出席者の紹介につきましては、配布の出席者名簿、および配席図をもって代えさせていただきます。

また、資料につきましては、次第に掲載しておりますものをお手元にお配りしております。資料の不足等ございましたら、挙手にてお知らせください。よろしいでしょうか。

さて、本日は、昨年末に策定しました大阪のまちづくりランドデザインの推進の取組等について、ご議論いただきたいと思っております。

それでは、次第に基づき、議事を進めさせていただきます。

資料1「大阪のまちづくりランドデザインの推進に向けて」について、大阪都市計画局計画推進室長の上溝より資料の説明をさせていただきます。

#### (事務局)

「大阪のまちづくりランドデザインの推進に向けて」について、ご説明いたします。

資料1をご覧ください。

最初に、昨年末に策定いたしました大阪のまちづくりランドデザインの概要について、ご説明いたします。

ランドデザインの策定につきましては、本推進本部会議におきまして、学識経験者、民間事業者、経済団体、市町村などからご意見等をいただきながら進めてまいりました。令和3年8月開催の副首都推進本部会議において、ランドデザインの推進体制等を合意いただいた上で、一昨年12月から昨年11月まで計3回、ご議論いただき、昨年12月に大阪のまちづくりランドデザインとして策定・公表いたしまして、副首都推進本部にもご報告いたしております。

ランドデザインでは、まちづくりの基本目標を「未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり」といたしまして、魅力的な国際都市として成長する大阪、健康長寿で誰もが幸せを実感しながら暮らせる大阪、未来へつながる安全・安心な大阪、この3つの都市像の実現を目指すこととしております。また、これらの実現に向け、多様性の確保、共創、資源の活用の3つの視点を重視しながら、まちづくりを推進してまいります。

大阪府域の都市構造といたしましては、都心部やベイエリアにおいて国際競争力を備えたエリアを形成するとともに、放射・環状の交通ネットワーク上を中心に、多様な都市機能を備えた特色ある拠点エリアや魅力ある生活圏を形成いたしまして、これらが相互に連携

するマルチハブ&ネットワーク型都市構造の形成をめざしてまいります。

また、都市像の実現に向けまして、広域的な観点から取り組むべき、5つのまちづくりの戦略とその取組の方向性を示してありまして、民間の活力を最大限に引き出しながら、具体的な取組を多様な主体が一体となって推進することとしております。下のイメージ図に示しておりますように、これらの戦略に基づく取組を進めまして、各エリアの拠点性や価値を向上させますとともに、都心部とその周辺が一体となって成長し、都心部の拠点開発効果を府域に波及させるということをめざしてあります。

大阪・関西万博が開催されます 2025 年春を短期の目標とするほか、2030 年頃を中期、2040 年～2050 年頃を長期の目標としながら、このグランドデザインの取組を推進することにより、万博や、スーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、東西二極の一極を担う副首都として、大阪のさらなる成長・発展をめざしてまいります。以上がグランドデザインの概要でございます。

次に、大阪・関西万博を見据えたまちづくりに係る取組状況といたしまして、現在、進められている主なまちづくりの取組の現状や今後の予定等について、ご説明いたします。

まず、都心部等におけるまちづくりについてでございます。都心部のうめきた2期、大阪城東部、御堂筋、なんば駅周辺、中之島等、また、ベイエリアの夢洲、堺駅、堺旧港、関空・りんくう周辺等において、世界に存在感を発揮する国際競争力を備えた拠点エリアの形成をめざしたまちづくりを推進してあります。

都心部各拠点の主な取組のロードマップをお示ししております。2025 年の万博を見据えた取組について、特に着色してお示ししております。

次に、大阪府域における主な取組についてでございます。都心部等での拠点開発効果を府域に波及しながら、府域のさまざまな地域において、多様な働き方・暮らし方を選択できるまちの実現をめざしてまいります。枚方市駅周辺再開発、千里中央地区の広場整備、淀川の舟運、中百舌鳥イノベーション創出拠点、泉北ニュータウン(泉ヶ丘駅周辺)での病院開設などの取組を進めてあります。こちらは先ほどと同様、ロードマップでございまして、着色したところが大阪・関西万博を見据えた取組ということでございます。

ここまでグランドデザインの概要でございますとか、各エリア、拠点の取組の状況等のご説明をしてまいりましたが、以降、グランドデザインの推進に向けての方針等について、ご説明させていただきます。まず、グランドデザイン推進に向けた体制の構築についてでございます。

これまで通り、本推進本部を中心とする体制を維持・継続しながら、新たに推進体制といたしまして「市町村まちづくり連携会議」と「鉄道沿線まちづくり推進会議」の2つを立ち上げてまいります。市町村まちづくり連携会議は、全市町村が参画し、グランドデザインの推進に向けた取組等に関する情報共有や意見交換を目的とするものでございます。これに加えて、市町村の取組や連携会議において共有した取組等の具体化に向けた意見交換を行う市町村ヒアリングを実施いたしまして、市町村と密に連携しながら、グランドデザインの

推進に取り組んでまいります。もう一つの鉄道沿線まちづくり推進会議は、鉄道事業者が参画いたしまして、鉄道を軸としたまちづくりに関する情報共有・意見交換を目的とするものでございます。こちらについては後ほど詳しくご説明いたします。

さらに、これらの取組の実現方策等を検討するため、関係部局とも連携しながらテーマ別の会議体の設置や関係者連携のコーディネート等を行ってまいります。

今年度におきましては、鉄道沿線まちづくり推進会議のもとにテーマ別会議体となります個別路線沿線まちづくり協議会を立ち上げる予定としております。また、本推進本部会議につきましては、今後は先ほど知事からもありましたように、ランドデザインの策定の段階から推進の段階までということでございますので、議事の内容に応じて柔軟に会議を運営したいと考えておまして、今後、進捗状況を確認する場合など、大阪府副知事が主宰できるようにしたいと考えております。こちら後ほど設置規約の変更について、ご確認いただきたいと思っております。

次に、ランドデザインの推進に向けた具体的な取組についてでございます。ランドデザインにおきましては、推進に向けた取組といたしまして、多様な主体の共有や参画を促し、まちづくりの機運醸成等を図る取組、民間主導のまちづくりを推進するための環境整備、市町村及び広域連携のまちづくりの推進、それから、まちづくりを育てるための取組の推進、これらを挙げております。先ほどご説明いたしました推進体制のもと、今年度より進める取組をお示ししております。

まず、ランドデザイン推進本部が中心となって進める取組でございます。まちづくりの機運醸成等を図る取組といたしまして、ランドデザインのプロモーション、まちづくりレポートの発信、広域連携のまちづくりの推進を行ってまいります。また、民間主導のまちづくりを推進するための環境整備といたしまして、まちづくり指針の作成や、法制度・手法等の改善に向けた国への働きかけ、先ほどご説明した鉄道沿線まちづくりの推進などを行ってまいります。さらに、大阪府が広域的な観点から進める市町村及び広域連携のまちづくりの推進といたしまして、市町村のまちづくり支援の充実・強化、広域連携による地域魅力の発信を行ってまいります。

続きまして、各取組の内容について、ご説明してまいります。

まず、ランドデザインのプロモーションについてでございます。そちらにお示ししておりますランドデザインのめざすべき都市像や、まちづくり戦略等を広く発信し、まちづくりへの理解・関心を高めること、もう一つは、まちづくりの取組等を発信することにより、民間投資を喚起し、民間事業者等のまちづくりへの参画を促進すること、大きくは、この2つを目的として取り組んでまいります。まちづくりへの理解・関心を高める取組といたしましては、シンポジウムの開催、パンフレットや動画、ホームページ等の作成などを行ってまいります。知る、参加する、デジタルとリアル、こういう特徴を持った、これらの4つの取組により、まちづくりへの理解・関心を高めてまいります。民間事業者等のまちづくりへの参画を促進する取組といたしましては、まちづくりセミナーの開催、まちづくり紹介パンフ

レットの作成などを行ってまいります。大阪府や市町村のまちづくりの内容や取組をこれらに反映いたしまして、民間事業者等に情報を発信してまいります。

次に、まちづくりレポートの発信についてでございます。グランドデザインに掲載している拠点エリアの取組でございますとか、新たに創出された取組につきまして、その進捗状況などをまちづくりレポートとしてとりまとめ、発信することにより、府民等の皆さんがまちづくりの進捗を実感できるようにいたします。まちづくりに取り組む行政や民間の方々が、主な取組の進捗を見られるようにするためのツールになるものと考えております。

次に、まちづくり指針の作成についてでございます。これは、まちづくりの進め方や各種法制度・補助制度といった支援メニューなどを分かりやすく示したものでございまして、市町村や民間事業者の方々のまちづくりの履歴書となるものでございます。まちづくりの考え方や誘導方策、まちづくり制度や活用イメージを一元的にまとめた大阪のまちづくりガイドブックをお示しして、これを参考として、市町村単独では進まなかったまちづくりや、多様な主体によるまちづくりを促進したいと考えております。

法制度・手法等の改善に向けた国への働きかけについても継続して行ってまいります。市町村との意見交換を踏まえまして、必要な法制度や制度の改善などにより、事業の推進が期待できる事案の実現に向けて、国に対して提案・要望いたします。昨年度に実現した事例として、市街地再開発事業における飛び地施行地区の運用について、ご紹介しております。こちらは市街地再開発事業において、隣接しない空き地等を活用することを国に提案したところ、運用に関する考え方が一定、整理されまして、それら土地の一体的な関係が説明できる場合には実施可能との見解が示されております。

次に、先ほど推進体制のところでも触れましたが、鉄道沿線まちづくりの推進についてでございます。交通ネットワークの強化やネットワークを活かしたまちづくりによる都市軸の強化、主要な駅周辺や生活の中心となる場への都市機能の集積等、集約型の歩いて暮らせるまちづくりの推進、この2つを目的といたしまして、鉄道事業や、大阪府、大阪市、堺市、新たに鉄道沿線まちづくり推進会議を立ち上げまして、グランドデザインの推進に向けた取組や鉄道沿線まちづくりに係る取組の共有などを行ってまいります。さらに、各所の個別路線ごとのまちづくりの取組状況でありますとか、取組の方向性を確認いたしますとともに、鉄道事業者の移行を踏まえまして、鉄道事業者や沿線市町村等が参画する個別路線沿線まちづくり協議会を設置いたしまして、個別路線ごとのまちづくりの検討、具体的方策の実現等をめざしてまいります。また、都市軸の強化や魅力向上につながる取組につきましては、他の路線においても活用できるよう情報を共有してまいります。

最後に、広域連携のまちづくりの推進、広域連携による地域魅力の発信についてでございます。多様な地域資源を活用した地域活性化に向けまして、広域的な観点から取組の推進や地域魅力に係る情報発信等を市町村や民間の方々と実施してまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。

(司会)

ありがとうございました。それでは、ご意見などをいただきたいと思います。  
どうぞよろしくお願い申し上げます。いかがでしょうか。

**大阪府町村長会会長（田代会長）**

今回のグランドデザインについての検討では、各会議のときにいろいろなご意見を聞かせていただいた経過があります。その中で、特に知事さんの方から大阪府域を全体として考えて、このグランドデザインを策定していくということを随所で言われておりました。その概要が今回の説明の内容からいきますと、十分網羅されているのかなど、このように感じております。

そういった中で、全ての市町村が参画する会議、ヒアリングを通じて、各町村の意見をしっかりと聞いていただきたいと、また、具体的なまちづくりの取組につなげて行っていただきたいなど、このように思います。

先ほど鉄道関係の話が出ておりました。その鉄道沿線のまちづくりの推進という題目がありました。その取組の中で、会議体を設置し、推進する体制を整備するという内容であったかなと思っていますけども、その整備について、まちづくりの方向性について、十分検討する必要があるのかなど、このように思っております。最近、鉄道もいろいろと各自治体とも、鉄道のある市町村については、いわば乗客が減って、かなり衰退しております。特に今日のグランドデザインの中にもありますように、鉄道については、しっかりと協議の場を持っていただきたいなど、このように思います。

そういった中で、本当に今回のこのグランドデザインが大変評価できると思っておりますので、今後、町村の代表として意見を言わせてもらうとすれば、われわれみたいな町村は、小規模な自治体ばかりですので、各町村の総合計画、また、いろいろな計画があるかと思っておりますので、そういったことを十分考慮していただいて、そういった会議の場で、各町村の意見を聞いていただきたいと思っておりますので、どうかこの立派なグランドデザインが、大阪府域全体が活性化できるように期待をして私の意見とさせていただきます。

どうかよろしく願いいたします。

(司会)

ありがとうございます。

府域全体を見渡して、しっかりグランドデザインを進めて行ってほしいというご意見をいただいたと思います。今回、市町村まちづくり連携会議等を設置させてもらう等、個別ヒアリングさせていただいておりますので、その中で、いろいろと市町村が取り組まれていることについては、十分ご意向等、うかがいながら、グランドデザインの推進については、やっていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

その他、ご意見等、ございませんでしょうか。

### **大阪府市長会会長（社会長）**

意見というよりも、質問でもよろしいですか。

2050年を目標にまちづくりをしていかれる、この中に、国際金融都市の実現があります。少しイメージが湧かない、資料にもあまり触れられていないと思うのですが、どういうロードマップを描いて、都市の実現に向けて取り組まれるのか、ご説明をお願いしたいと思います。

### **（大阪市経済戦略局）**

2050年度を目途に、特に海外の金融系企業やフィンテック企業など、そういったさまざまなところから、大阪に投資を呼び込むということで、府市一体となって、めざしているところでございます。

われわれといたしましては、特にイノベーション創出に向けて、海外からの投資を呼び込み、イノベーションの拠点都市として、ユニコーンの創出についても、目標としておりますので、そういった投資環境を整えていくというところをめざしております。

### **大阪府市長会会長（社会長）**

ありがとうございます。

グランドデザインという、大阪府内全域を網羅されて、いいものを作っていただいて、これから長期計画での取組が進む中で、やはり人口減少や、東京一極集中もなかなか是正されないような、そういう見通しになっておりますので、ぜひとも副首都としてふさわしいような、人口減少にならない取組を、その中で金融は非常に重要な要素だと思いますし、これを実現するためには相当な計画を立てて、バックキャンピング的に今何をしなければいけないのかという取組を進めて、東京と大阪という、世界から見たら、ロンドンとかニューヨークとかあるわけですが、そういう位置を占められるように取組を進めていただきたいと思います。

以上でございます。

### **（司会）**

ありがとうございます。

まちづくりを進める中で、いろいろ関係部局の取組とも十分連携しながら、やっていく必要があると思っています。

その中の要素の一つとして、こういう国際金融都市という話もあると思いますので、そういう点については、今後、まちづくりを進めながら、しっかり連携しながらやっていきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

その他、いかがでしょうか。

**副本部長（永藤市長）**

説明された大阪のまちづくりグランドデザインは、大阪全体のめざすべき方向性や、その意味からも、府内の自治体が大きな方向性を共有しながら、それぞれの地域の取組がばらばらにならないように統一感を持って、やっていく必要があると思っています。

その一つ、本日、紹介された方策が、14 ページの市町村まちづくり連携会議だと思いますが、事務局の方に一点、確認ですが、市町村まちづくり連携会議の情報提供や意見交換、そのタイミングや頻度は、どのように考えていらっしゃいますか。

**（事務局）**

ただいま開催に向けまして調整しているところでございます。早ければ、7月中に開催したいと思っております。頻度については、まだ具体的に考えているところはございませんが、その意見交換の中で頻度等についても皆さまの意見を聞きながら、決めていきたいと思っております。

**副本部長（永藤市長）**

大阪府内にも43の市町村がありますし、それぞれの市町村の思いで進めている事業もあると思います。

今の時点では、恐らく共通認識が取れているかと認識していますが、これから社会情勢の変化であったり、時代の移り変わりによって、変わっていく内容もあるかと思っております。どういうタイミングで意見を伺って、その伺った意見であるとか、また変わっていく内容を推進本部会議にどうフィードバックするのか、そのあたりの仕組みもこれから詰めていかれると思っておりますので、検討してもらいたいと思っております。

以上です。

**（司会）**

ありがとうございます。

市町村連携会議とか、あるいは市町村ヒアリングも含めて、いろいろな意見等、あるいは、それを反映した具体的な実現方策につなげていくところもでございますので、そういった内容については、この推進本部の場でも、ご報告させていただく形を少し考えていきたいなと思っていますので、よろしくをお願いします。

その他、いかがでしょうか。



### **副本部長（横山市長）**

まず資料のとりまとめ、ありがとうございます。

いよいよランドデザインを本格的に推進していくステージになります。とりわけ、2025年の大阪・関西万博が、大阪を本当にかくさんの方に体感してもらう非常に絶好の機会だと思っています。

本日ご説明いただきました、このプロモーションの取組などによるまちづくりの機運の醸成、鉄道沿線まちづくりの推進の取組、こういった環境整備などを通じて、ランドデザインの推進に全力で取り組んでいただきたいと思います。

資料1の9ページから10ページになるとと思いますが、大阪市では、南北軸に加えて、東西軸を現在、重視しておりまして、うめきた、なんばという、いわゆるキタ、ミナミに加えて、東西の森之宮エリア、ベイエリア、こういった拠点開発、大阪城東部地区や、夢洲をはじめとするベイエリア、新しい拠点の形成づくりに取り組んでおります。これに合わせて、ページ11には非常に分かりやすく、都市部から放射状に周辺に広げていくという成長デザインだと思います。

こういった大阪全体の発展に向けまして、周辺市と連携していくことが非常に重要だと思っています。

その上でこの取組を横展開していったって、大阪全体の成長を描いていくというようなことで、引き続き、大阪都市計画局の方で中心的役割を担っていただきながら、このランドデザインを力強く進めていただきたいと思います。

以上です。

### **（司会）**

ありがとうございます。

拠点形成、それから周辺地区との連携などは当局の方でもしっかり取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

その他、ご意見等、ございませんでしょうか。

### **本部長（吉村知事）**

大阪は経済都市になりますから、開発も経済の中心部、大阪都心部の成長、発展をめざしていくというのは、当然のことだと思います。大阪の中心部、大阪市は非常に、まちづくりにおいて力がある。これは間違いなくて、この点について大阪市、大阪府で協力して、この経済都市・大阪を成長させていくという、このまちづくりを協力して進めていってまいりたいと思います。

また、大阪というのは全国で2番目に小さい都道府県でもありますから、この大阪市を中心としたこの都心部の経済成長であったり、その波及効果というのを、まちづくりの点においても大阪全体に広げていくということが重要であると思っています。

2025 年大阪・関西万博まで、まず何をすべきか、このロードマップ、その先に何をすべきか、ロードマップをきちんと、今回作ってくれていますけれども、この工程感を意識して、スケジュール感を意識して、着実に進めてもらいたいと思います。

その上で、2 点なのですけれども、まず 1 点目は、町長、市長からのごさいましたけれども、市町村と連携して進めていくということが非常に重要だと思います。大阪都市計画局が中心となって、この市町村、関係部局とともに立ち上げます市町村の連絡会議、ここはぜひ積極的に活用してもらって、ぜひ市町村と連携した上でのまちづくり、これを進めてもらいたいと思います。これが 1 点目です。

2 点目は鉄道です。大阪・関西万博を通じてですけど、これから鉄道というのは大きく変わってくると思います。移動の手段が大きく変わってくると思っています。

鉄道だけではなくて MaaS という概念のもとで、移動のあり方が変わってくる社会になると思います。大阪は先ほど申し上げたように全国で 2 番目に小さい、普通に通勤エリアで、それこそ岬町から大阪市内へ仕事に行って、北から南までですね、完全に通勤エリア、通学エリアでもあります。そう考えたときには、この移動というのは MaaS がより適したエリアが、この大阪にある。2025 年大阪・関西万博を通じて、さらに加速度的に進んでくると思います。

先日、横山市長と一緒に国に万博の要望に行ったときも、鉄道事業者、関経連の代表として角会長（阪急阪神ホールディングス株式会社）がおっしゃっていましたが、鉄道事業者、あるいは大阪の交通事業者が何十社も集まって、一つになって、MaaS の計画を現実に進めて、作業の中心は大阪メトロがやってくれたわけですけども、大阪メトロからさらに枠が広まって、関西の私鉄各社、そして私鉄各社を乗り越えて、いろいろな交通事業者が、この大阪 MaaS に入ってきていますという話がありました。今後のまちづくりを考えたときに、鉄道沿線というのは非常にキーになってくると思います。

2 つ目の会議体として立ち上げる鉄道沿線まちづくり推進会議、とりわけ民間の鉄道事業者と連携して、さらにその先の移動革命、MaaS というものにつながってくると思いますから、それこそが都市軸の強化にもつながってくると思います。この鉄道事業者を中心とした MaaS、新しい移動革命を含めたまちづくり、都市軸としてのまちづくりというのに力を入れてまいりたい。大阪都心部で計画延長、どんどんまちづくりをしていく、その効果がある意味、全体に広がって、それぞれの地域の都市軸としての沿線のまちづくりにつながってくるという方向性を重視して進めてもらいたい。民間事業者と連携して、また民間鉄道事業者、市町村と連携して、大阪全体のまちづくりを進めてもらいたいと思います。

よろしくをお願いします。

**（司会）**

ありがとうございます。

市町村まちづくり連携会議について、できるだけ早く立ち上げて、しっかり市町村と連携

したいと思いますし、また、鉄道沿線まちづくり推進会議、これも早期に立ち上げて、ご指摘の点も含めて、鉄道事業者としっかり会話していきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

その他、ご意見等、ございませんでしょうか。よろしいですか。

グランドデザインの推進に向けた取組等については、ご確認いただきましたので、次の議題に入りたいと思います。事務局より資料2「推進本部設置規約の変更について」の説明をさせていただきます。

#### **(事務局)**

それでは、資料2をご覧ください。

まず、1点目でございますが、名称の変更についてです。

グランドデザインが改定されたことに伴いまして、この名称に合わせて変更を行ってまいります。

2点目は会議の運営方法についてです。先ほど推進体制の説明のところでも触れましたけれども、今後、議事内容に応じて、本推進本部会議の柔軟な運用を可能とするため、本部長である知事が認めるときには、本部員の出席のみで推進本部会議を開催することができる、この場合においては、副知事が推進本部会議を主宰するという文言を追加するものでございます。資料2-1の方に規約の具体的な変更をお示ししております。

説明は以上でございます。

#### **(司会)**

ありがとうございます。

推進本部設置規約の変更について、何かご意見等、ございますでしょうか。

特にご意見等はないようですので、これをもって了承いただいたということで、今後、推進本部設置規約の変更に向けて、事務的な手続きを進めさせていただきたいと思います。

それでは、最後に全体を通して、何かあれば、お願ひしたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

#### **(大阪都市計画局 尾花局長)**

担当の事務局の立場でお話申し上げたいと思います。

本日は、いろいろなご意見を賜りまして、誠にありがとうございます。

今後に向けましてですが、近日中に、お話にありましたように、市町村の皆さまとのまちづくり連携会議を開催させていただきまして、全ての市町村の皆さまと本日の内容を共有し、議論を進めてまいりたいと思っております。

それとともに、これも話題となりました鉄道沿線まちづくり推進会議、こちらにつきましても、早期に立ち上げをいたしまして、知事からもお話がありました MaaS、移動革命等を

含めた活性化などを、ランドデザインの推進に向けた取組を進めて参りたいと存じますので、引き続き、関係部局の方をはじめ、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

**(司会)**

ありがとうございます。

以上で本日の議事は全て終了しました。これにて第 4 回新しいまちづくりのランドデザイン推進本部会議を閉会します。

皆さま、どうもありがとうございました。